

第2号報告資料

令和元年度事業報告書

(平成31年2月1日から令和2年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第119回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成31年4月18日～20日

場所 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪（大阪市）

参加者数 15,524名 演題数 3,349題

テーマ「メスの絆で科学を拓く：A Scrum of Surgeons Takes the Field for Science」

- ・学術集会の在り方を検討した。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を実施した。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本とした）。

| 発行年月日 | 巻 | 号 | 発行部数 |
|--------------|-----|------|--------|
| 平成31年 3月 1日 | 120 | 2 | 7,750 |
| 平成31年 3月 10日 | 120 | 臨時増刊 | 39,400 |
| 令和元年 5月 1日 | 120 | 3 | 8,100 |
| 令和元年 7月 1日 | 120 | 4 | 8,100 |
| 令和元年 9月 1日 | 120 | 5 | 8,130 |
| 令和元年 11月 1日 | 120 | 6 | 8,160 |
| 令和2年 1月 1日 | 121 | 1 | 8,280 |

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

| 発行年月日 | 巻 | 号 | 発行部数（電子ジャーナル発行分含む） |
|-------------|----|----|--------------------|
| 平成31年 2月 1日 | 49 | 2 | 40,000 |
| 平成31年 3月 1日 | 49 | 3 | 40,000 |
| 平成31年 4月 1日 | 49 | 4 | 40,000 |
| 令和元年 5月 1日 | 49 | 5 | 40,000 |
| 令和元年 6月 1日 | 49 | 6 | 40,000 |
| 令和元年 7月 1日 | 49 | 7 | 40,000 |
| 令和元年 8月 1日 | 49 | 8 | 40,000 |
| 令和元年 9月 1日 | 49 | 9 | 40,000 |
| 令和元年 10月 1日 | 49 | 10 | 40,000 |
| 令和元年 11月 1日 | 49 | 11 | 40,000 |
| 令和元年 12月 1日 | 49 | 12 | 40,000 |
| 令和2年 1月 1日 | 50 | 1 | 40,000 |

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

| 発行年月日 | 巻 |
|------------|---|
| 平成31年 2月1日 | 5 |
| 平成31年 3月1日 | 5 |
| 平成31年 4月1日 | 5 |
| 令和元年 5月1日 | 5 |
| 令和元年 6月1日 | 5 |
| 令和元年 7月1日 | 5 |
| 令和元年 8月1日 | 5 |
| 令和元年 9月1日 | 5 |
| 令和元年 10月1日 | 5 |
| 令和元年 11月1日 | 5 |
| 令和元年 12月1日 | 5 |
| 令和2年 1月1日 | 6 |

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), British Journal of Surgery Society (BJS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) の参加候補者を決定した。
- ・ インド (The Association of Surgeons of India), およびアフリカ諸国 (The College of Surgeons of East, Central and Southern Africa) との交流制度の仕組みを検討した。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・ 標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収載した。

藤原 俊義（岡山大学）

「噴門側胃切除術後に食道胃接合部の逆流防止機構を再構築する観音開き法（上川法）再建」

奥村明之進（国立病院機構大阪刀根山医療センター）

「浸潤性前縦隔腫瘍の摘出術」

碓氷 章彦（名古屋大学）

「慢性B型解離に対するOpen Surgery」

越永 従道（日本大学）

「仙尾部奇形腫の標準手術」

高山 忠利（日本大学）

「肝の高位背方切除」

- ・「外科研究の利益相反に関する指針」を改訂し、該当者から利益相反自己申告書を回収した。
- ・AIを活用した取り組みについて検討した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の運用のために、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行うと共に、専攻医の研修状況を管理した。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催すると共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行い、E-learningを開始した。
- ・外傷講習会を開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。
- ・厚生労働省からの補助金を得て、「外傷外科医養成研修事業」として、テロ災害などの傷病者の診療に関わる外科医の資質と技能の向上を図った。
- ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査—外科専門医制度改善に向けて—」の分析結果を論文化して公表した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第22回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。
日時 平成31年4月20日
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加者数 571名
- ・第23回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。
日時 令和元年11月16日
場所 高知市文化プラザかるぼーと（高知市）参加者数 94名
- ・第26回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰した（5名）。
上野 滋（東海大学医学部外科学系小児外科）
「Indications for tracheostomy in children with head and neck lymphatic malformation : analysis of a nationwide survey in Japan 49 : 410-419」
吉松 和彦（東京女子医科大学東医療センター外科）
「A Japanese multicenter phase II study of adjuvant chemotherapy with mFOLFOX6/CAPOX for stage III colon cancer treatment after D2/D3 lymphadenectomy 49 : 498-506」
山本 治慎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科）
「A single-nucleotide polymorphism in a gene modulating glucocorticoid sensitivity is associated with the decline in total lung capacity after lung transplantation 49 : 268-274」
栗田 俊之（獨協医科大学心臓・血管外科）

「Lung-diffusing capacity for carbon monoxide predicts early complications after cardiac surgery 49 : 571-579」

和田 佑馬 (徳島大学消化器・移植外科)

「The protective effect of epigallocatechin 3-gallate on mouse pancreatic islets via the Nrf2 pathway 49 : 536-545」

- Surgery Today Best Reviewer Award を表彰した. (4名)

水島 恒和 (大阪大学)

長谷川 潔 (東京大学)

川井 学 (和歌山県立医科大学)

竹内 裕也 (浜松医科大学)

- Surgical Case Reports Best Reviewer Award を表彰した. (5名)

五井 孝憲 (福井大学)

宮崎 達也 (前橋赤十字病院)

紙谷 寛之 (旭川医科大学)

山本聖一郎 (東海大学)

土井原博義 (岡山大学)

- 第119回定期学術集会のビデオ演題のうち, 優秀な12演題をビデオライブラリーに収載して, 制作補助費を支給した.

穴山 貴嗣 (高知大学外科二)

「Cone beam CT-guided Bronchoscopic infra-red fluorescence marking for thoracoscopic resection of small-sized lung cancer」

黒柳 洋弥 (虎の門病院消化器外科)

「Laparoscopic Surgery for Lower Rectal Cancer」

山崎 誠 (大阪大学消化器外科)

「T4b 食道癌に対する外科手術」

宇山 一朗 (藤田医科大学総合消化器外科)

「Minimally invasive surgery for advanced gastric cancer」

山岸 正明 (京都府立医科大学小児医療センター小児心臓血管外科)

「Ebstein 奇形に対する三尖弁形成・弁輪縫縮術 (Cone 手術)」

宮 章博 (隈病院外科)

「局所進行甲状腺乳頭癌, 再発甲状腺癌に対する手術 外科医のもう少しの努力が予後を改善する」

小林 晶 (国立がん研究センター中央病院呼吸器外科)

「肺門部肺癌に対する肺動脈形成への提案」

浅井 徹 (順天堂大学心臓血管外科)

「Mitral valve repair strategy based on quantitative assessment for complex degenerative mitral disease」

若林 剛 (上尾中央総合病院肝胆膵疾患先進治療センター外科)

「腹腔鏡下系統的肝切除: グリソン一括法を用いた ICG 色素蛍光法による術中ナビゲーション」

諏訪 宏和 (横須賀共済病院外科)

「近赤外光観察を併用した腹腔鏡下側方リンパ節郭清手技と短期成績」

内田 広夫（名古屋大学小児外科）

「小児外科における真の低侵襲手術を目指して 食道閉鎖症, 先天性胆道拡張症, 胆道閉鎖症に対する内視鏡手術への取り組み」

阿部 雄太（慶應義塾大学外科）

「Radical resection for HBP malignancy with vascular reconstruction : Challenge to the limits」

- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1名).

坂東 興（東京慈恵会医科大学・心臓外科）

「心臓血管外科医の睡眠不足が手術の質と予後に及ぼす影響」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の補助金を支給した (5名).

池部 智之（京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器外科学）

「STAS (Spread Through Air Spaces) を有する肺腺癌の次世代シーケンスによる病態解明と診断マーカーの探求」

及能 大輔（札幌医科大学消化器・総合, 乳腺・内分泌外科）

「癌幹細胞マーカー SOX2 に対する血中抗体を利用した乳癌の予後予測マーカーの開発と癌幹細胞標的療法の基盤的研究」

清水 崇行（獨協医科大学第二外科）

「大腸癌肝転移におけるニボルマブ効果予測因子の分子生物学的解析と適応基準の確立」

松田 諭（慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器））

「リキッドバイオプシーを用いた食道癌における術前化学療法奏効例の抽出ならびにオミックス解析による薬剤抵抗性解明 術前 5-FU+ オキサリプラチン+ドセタキセルの有効性, 安全性評価のための多施設共同第2相試験」

米村 圭介（防衛医科大学校外科学講座医学研究科学生）

「大腸癌オルガノイドを用いた大腸癌腫瘍先進部の形態学的特徴の解析」

- ・National Clinical Database (NCD) を活用した臨床研究の助成を検討すると共に, 複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた.

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第95回卒業後教育セミナーを下記のとおり行った.

日時 平成31年4月20日

場所 大阪国際会議場（大阪市）参加者数 1,644名

テーマ「魅力的な外科医師育成プログラムを目指して！」

- ・第96回卒業後教育セミナーを下記のとおり行った.

日時 令和元年11月16日

場所 高知市文化プラザかるぼーと（高知市）参加者数 259名

テーマ「知っておくべきサブスペシャリティ領域別トレーニングプログラム」

- ・第27回生涯教育セミナーを下記のとおり行った.

テーマ「各分野のガイドラインを紐解く」

(北海道地区)

日時 令和2年1月11日

場所 北海道大学医学部フラテホール(札幌市) 参加者数 137名

(東北地区)

日時 令和元年9月14日

場所 青森県観光物産館アスパム(青森市) 参加者数 90名

(関東地区)

日時 令和元年9月21日

場所 ヤクルトホール(東京都港区) 参加者数 127名

(中部地区)

日時 平成31年4月7日

場所 愛知医科大学(長久手市) 参加者数 118名

(近畿地区)

日時 令和元年9月28日

場所 大阪国際交流センター(大阪市) 参加者数 138名

(中国四国地区)

日時 令和元年9月20日

場所 ANAクラウンプラザホテル宇部(宇部市) 参加者数 115名

(九州地区)

日時 令和元年5月18日

場所 鹿児島県市町村自治会館(鹿児島市) 参加者数 63名

⑧外科診療に関する情報や指針の提供(定款第4条第8号)

- ・National Clinical Database(NCD)に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づくCadaver Surgical Training(CST)の普及を図った。
- ・日本内視鏡外科学会および日本ロボット外科学会などの協力を得て、厚生労働省の「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に基づく遠隔手術についての検討を行った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発(定款第4条第9号)

- ・広報活動として、第45回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。

日時 令和元年5月5日

場所 立命館いばらきフューチャープラザ(茨木市)

テーマ「最前線のがん治療を阪大消化器外科がわかりやすく解説」

⑩医療政策に関する建議(定款第4条第10号)

- ・外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」(日本医療安全調査機構)の支援団体として、死因の調査

分析事業に協力した。

- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、日本麻酔科学会と定期的に懇談すると共に、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトのアンケート調査を National Clinical Database (NCD) と協働で行った。
- ・日本女性外科医会と協働で、医師の継続就労と支援についてのアンケート調査などの検討を行った。
- ・外科医の適正数について検討し、外科医へのインセンティブに関するアンケート調査を行った。
- ・外科医の無過失補償制度について検討した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・代議員の選任を行った。
- ・第120回定期学術集会での記念事業の開催について検討を行った。
- ・財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・事務所の移転に向けた検討を行った。